

平成30年度 協働事業「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」 の取組状況について

平成30年度における協働事業「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」の取組状況について、以下のとおり報告する。

1 目的・経過

区では、平成27年度からNPO法人と協働で、「文化・芸術の創造性を活かしたまちの魅力づくり」をテーマに、区民が創作した作品の展示や発表の場を確保し、気軽に文化・芸術に親しめる機会を充実させることを目的とした事業を実施している。

2 取組状況

(1) まちなかギャラリー等の発掘と情報収集・発信（通年）

店舗の空きスペース、飲食店のちょっとした壁など、活用可能な潜在的スペースを発掘し「まちなかギャラリー」として登録している。

収集したまちなかギャラリーやアーティスト等の情報は、情報紙「コミユかる」やホームページ、Facebookを活用し、国内外へも広く発信していく。

【登録数（平成31年2月現在）】

①まちなかギャラリー:96カ所 ②アーティスト:95名 ③アートサポーター:56名

(2) アートサポーター講座の実施（5～6月）

区の文化芸術活動を下支えする役割を担うアートサポーターを育成するため、すぎなみ地域大学で、アートに関する知識・経験を積む講座を開講した。受講後は、区の助成金対象事業を鑑賞・評価する区民モニターのほか、アートイベントの企画・運営に携わる。

なお、アートサポーターの評価・意見は、参考意見として、今後の助成金審査に活かしていく。



(3) オリジナルグッズの販売（7月～）

区内アーティストがデザインし、区内福祉作業所等と連携して、オリジナルバンダナや風呂敷の制作・販売を開始した。

○商品概要（風呂敷）

価格：1枚1,800円（税込）

デザイン種類：サクラ・スギ

素材：綿100%

サイズ：約70cm角 パッケージは約21cm角

販売先：①コミュかるショップ（区役所1階）

②NPO法人TFE事務局

③当プロジェクトHP（<http://suginamiart.tokyo/contact>）



(4) 「スマホ限定！アートスポットを巡るスタンプラリー」の実施

平成31年1月21日～3月3日（実施中）

現在、区の文化施設やまちなかギャラリー等のアートスポットを巡るスタンプラリーを開催している。

また、アートスポットの1つである区民ギャラリーでは、新たな取り組みとして、芸術療法（アートセラピー）である「臨床美術展」を開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代の区民が、作品を鑑賞するとともに、実際に臨床美術を体験した。

今後も作品発表の機会を広げる取組を進め、年齢や障害の有無等に関わらず、多くの方が文化芸術に親しめる機会の充実を図る。

○アートスポット一覧

- ① 座・高円寺（杉並芸術会館）
- ② 杉並公会堂
- ③ 区民ギャラリー（区役所2階）
- ④ 東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム
- ⑤ Aさんの庭（区立公園）
- ⑥ 与謝野公園（区立公園）
- ⑦ すぎなみ協働プラザ・交流コーナー
- ⑧ オーロラ（区立公民館の記念碑）
- ⑨ ガンジー像（杉並区日印交流協会から寄贈）
- ⑩ 冬の像（京王井の頭線永福町駅の改良工事時に区が設置）
- ⑪ ～ ⑮ まちなかギャラリー5カ所

